

誌上学習会 16 「私の趣味」

今回は 情景の表現を学びましょう。豊かな描写の手話のシャドーイングと、
適した日本語に翻訳する読み取りを練習してみます。

ラベル例

最近 / PT1 / キャンプ / はまる / PT1/ 特に / 冬 / 面白い
何 / 火 / 夜 / あたる / 燃える / 見る / 火 / きれい / 見る
もっと / 空 / 星 / きれい / 見る / 気持ち良い /
でも / 特に / 寝る / 寒い / 寒い / 困る / PT1

指さし(PPOINTING=PT)の種類

PT1	一人称	自分
PT2	二人称	相手
PT3	三人称	第三者
	物を指す	
	その他(代名詞)	

① 繰り返しシャドーイングをやってみましょう。

口元を注視します。口の動きを読み取ってみましょう。

視線はどこへ向けているのかを注視します。(例:正面、下、上 など)

② 「見る」の違い

二重線と波線ではラベルは同じ「見る」でも手話表現は違います。

情景に適した日本語の選択を考えてみましょう。「炎を……。」

「星を……。」

二重線の「見る」と波線の「見る」の手話は、今回の動画以外にそれぞれ
どんな場面で表現されるのでしょうか？

③ 冬の夜、キャンプ場での情景が思い浮かびましたか？

動画の手話を日本語に翻訳してみましょう。そして声に出してみましょう。

④ 日本語の言葉の引き出しを増やす学習

冬の夜空を思い浮かべてみましょう。情景を表現する日本語は……。

どんな言葉を思いつきますか？

例えば、今回の動画であれば「凍てつくような夜空」など。

*②「見る」の手話表現について、ぜひ学習会やサークルなどの学びやろう者の皆さんとの
おしゃべりタイムで話題にしてみたいかがでしょうか。

ただし、動画を見ることが出来るのは広通研会員のみです。取扱いにご注意ください。

ご意見ご要望などありましたら広通研公式 LINE でお問い合わせください。